教科目名　日本語Ⅰ　（Japanese　Ⅰ）

学科名・学年：留学生　３年
単位数など：４単位（前期２コマ、後期２コマ、学習保証時間 90 時間）
担当教員：那須里美

授業の概要
言語の「話す」「聴く」「読む」「書く」という４技能のうち、前期は「話す」「聴く」「読む」力を高めると共に、能力試験対策を始める。能力試験後、４技能の総合的強化をはかり、小論文作成への基礎知識、技術を指導する。

達成目標と評価方法　　**大分高専目標（　　），JABEE 目標（　）（　）**

(1)コミュニケーション能力のアップ（授業内における問答）
(2)２級レベル漢字 1000、語彙 6000、文法約 400 習得（課題、小テスト、定期試験）
(3)読解力のアップ（授業内、定期試験）
(4)日本語作文の基本ルール習得から、分野別文章作成の練習（課題）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2～ 12 13	学生の４技能習熟度チェック 中級（中期）程度の読み物や音声教材で学習後、そのテーマの要旨やテーマにおける意見を述べる。 能力試験２級レベルの漢字、語彙、文法導入。文章表現の基礎。 復習Ⅰ	○中級の読み物を早く確実に読み取る。 ○発せられた後、瞬時に消えていく音声を一度で聞き取れるようにする。 ○相手に伝わるように話す。苦手な音の克服 ○漢字 350、語彙 2000、表現文型 150 習得。 ○文体、助詞、首尾一貫、句読点などの基本ルール。	【理解の度合い】
14	前期中間試験		【試験の点数】　　点
15 16～ 27 28	前期中間試験の解答と解説 中級程度の読み物や音声教材で学習後、そのテーマについてのディスカッション。 能力試験２級レベルの漢字、語彙、文法導入。 復習Ⅱ	○中級（後半）の読み物を早く確実に読み取る。 ○的確な副詞・形容詞を使って更に具体的に表現できる。 ○漢字 800、語彙 4500、表現文型 300 習得	【理解の度合い】
29	前期期末試験		【試験の点数】　　点
30 31～ 42 43	前期期末試験の解答と解説 中上級読解問題解答後、そのテーマについてのディスカッション。 能力試験総合対策。 能力試験終了後、論理的な文章の書き方。 復習Ⅲ	○中上級の読み物を早く確実に読み取る。より自然な日本語で意見を述べる。 ○11 月中旬までに漢字 1000、語彙 6000、文法 400 習得。 ○２級レベル 70%以上の解答率を目指す。 ○作文：「段落構成」「説明文」	【理解の度合い】
44	後期中間試験	（能力試験模試として行う）	【試験の点数】　　点
45～ 57 58	授業前半、中上級読解問題解答後、そのテーマについてのディスカッション。 復習Ⅳ	○中上級レベルの読み物（生教材含む）の内容把握と口頭説明 ○作文：「歴史的経過」「分類」「定義」	【理解の度合い】
59	後期期末試験		【試験の点数】　　点
60	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	基礎となる初級レベルの語彙（漢字を含む）、文法が確実に習得できているか。できていない学生がいた場合、課題を与える等の方法によって、早期にそのレベルに達するようにする。漢字、語彙に関しては夏休みの課題としても扱う。	【総合達成度】
教科書	ニューアプローチ中上級日本語（日本語研究社）、留学生のための論理的な文章の書き方（スリーエーネットワーク）、 どんな時どう使う表現文型 500（アルク）、その他日本語能力試験関係	
参考図書	新聞	
関連科目		
総合	（4 回の定期試験１：２：３：４）×0.7＋（課題）×0.2＋（出席率）×0.1 ※欠席はコミュニケーション能力の養成をしなかったとみなす。	【総合評価】　　点